

第40回

教育研究全国大会宮崎大会

【第5分科会】 学校マネジメント

分科会テーマ

学校における働き方改革の達成と「社会に開かれた教育課程」の実現

提案テーマ

「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり

～コミュニティ・スクールを基盤とした学校と地域の連携・協働の推進～

提案者 那珂川町立馬頭東小学校長 田邊 美代子



栃木県学校管理職員協議会

目次

はじめに

- ・ 那珂川町の概要
- ・ 馬頭東小学校の概要

1 提案テーマ

2 提案趣旨



那珂川町イメージキャラクター「なかちゃん」

3 提案内容

- (1) コミュニティ・スクールと地域とともに歩む学校づくりについて
- (2) 学校と地域の連携・協働について
- (3) 地域の教育資源を生かした教育活動と学校運営について

4 成果と課題

- (1) 成果
- (2) 課題

◇参考資料

◇参考文献等



馬頭東小学校マスコット「くさばなちゃん」

はじめに

<栃木県那須郡那珂川町の概要>

那珂川町は、平成17年町村合併により小川町と馬頭町が合併してできた町で、栃木県の東北東に位置し、北部は大田原市、南部は那須烏山市、西部はさくら市、東部は茨城県大子町、常陸大宮市と隣接している。東西約22.0km、南北約18.9kmと東西に長く、総面積は192.78km²で、県全体の3%を占めている。

地形は八溝山から南西方向に連なる山地が大半を占め、高倉山を中心とする丘陵地帯、鷲子山の北西斜面の丘陵地帯、西部の喜連川丘陵地帯、那珂川沿いに広がる平坦地帯などで構成されている。中心部には関東の四万十川と言われる清流那珂川が南流し、その右岸には流れに沿って比較的平坦な沃野が開け、河岸段丘上に市街地が形成され丘陵地に集落が点在している。一方、左岸は武茂川が貫流し、山間地の小河川沿いに集落が点在しており、その下流に市街地が形成されている。

気候は典型的な内陸性気候であり、寒暖の差はあるものの年間を通して生活しやすい環境にある。

道路は本町を横断する国道293号、西部を縦断する国道294号、東部の国道461号の3路線が近隣市町間及び他県と結ぶ幹線となっている。

- ・人口 約15,000人(令和5年)
- ・学校数 小学校3校 中学校2校 高等学校1校

(那珂川町ホームページより)

<那珂川町立馬頭東小学校の概要>

馬頭東小学校は、平成22年4月に旧大山田小学校、谷川小学校、大内小学校の3校を統合し、馬頭東小学校として新設された。本校は、那珂川町の東の端、茨城県との県境に位置している。

本校では、「心の豊かな子(やさしく)、よく学ぶ子(かしこく)、たくましい子(たくましく)」を教育目標に掲げ、自ら学び、たくましく生きる心豊かな子ども育成を目指している。また、「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい 馬頭東小学校」を学校のキャッチフレーズとして取り組んでいる。

全校児童52名のほとんどの児童がスクールバスを利用しての通学という広い学区であり、東西を里山に囲まれ学校のすぐ横を大内川の清流が流れる自然豊かなところである。四季折々の自然の美しさは、那須や日光の観光地と比べても遜色がない地区である。

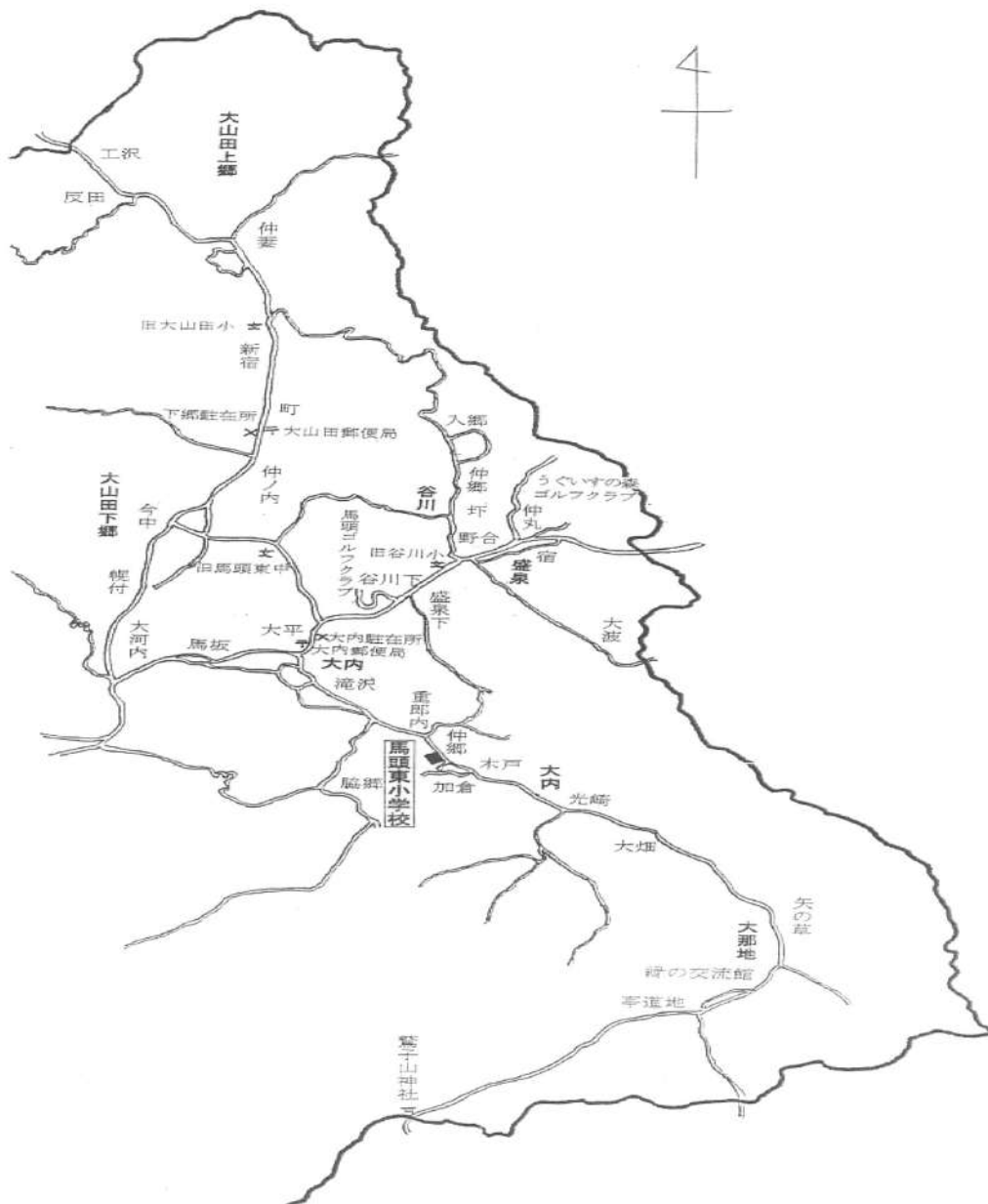
本学区は、純農村地帯に当たるため、三世帯同居世帯の割合が高く、保護者や地域の方の学校教育に対する関心は高く、大変協力的である。

児童は、明るく素直な子が多く、元気で、学習や運動に積極的に取り組み、生き生きと活動している。

- ・ 児童数 52名（令和5年5月1日現在）
- ・ 学級数 通常学級5学級（4・5年複式学級）
特別支援学級1学級（自情）

学年	1	2	3	4	5	6	特別支援	計
児童数	4	10	8	6	5	17	2	52
学級数	1	1	1	1	1	1	1	6

[馬頭東小学区]



<沿革史>

- 平22. 4. 1 大内小学校、大山田小学校、谷川小学校を統廃合して、旧大内小学校跡地に新設校として、創立開校する。
- 平22. 4. 8 開校式を挙げる。
- 平22. 10. 15 校歌掲額式を行う。
- 平23. 9. 3 体育館耐震補強及び大規模改修完了（工期 4月～8月）
- 平23. 10. 27 図書室にエアコン設置
- 平24. 3. 21 プール及びプールサイド塗装工事完了
- 平24. 3. 28 体育館脇物置設置
- 平29. 4. 1 特別支援学級「サポート学級」設置
- 平29. 6. 12 普通教室及び特別教室にエアコン設置
- 令 1. 7. 29 1階トイレ洋式化
- 令 3. 3. 22 G I G Aスクール構想によるタブレット設置
- 令 3. 4. 1 複式学級（2、3学年）設置
- 令 3. 4. 27 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）開始
- 令 4. 5. 10 地域学校協働本部（学校支援ボランティア）開始
- 令 5. 3. 13 全トイレ洋式化



令和5年度 馬頭東小学校グランドデザイン

教育の施策等
国の教育施策
県教育振興基本
計画 2025
町教育大綱・教
育振興基本計画

学校教育目標

□：県教育振興基本計画 2025 基本目標との関連

- **心の豊かな子** (やさしく) 明るく思いやりの心をもち、礼儀正しい子どもの育成 Ⅱ・Ⅲ
- **よく学ぶ子** (かしこく) 進んで学習に取り組み、基礎学力をしっかりと身に付け Ⅲ・Ⅴ・Ⅵ
- **たくましい子** (たくましく) 健康で忍耐力があり、気力あふれる子どもの育成 Ⅰ・Ⅲ

関係諸法規
日本国憲法
教育基本法
学校教育法
学習指導要領



3あい運動
学びあい
喜びあい
励ましあい

目指す学校像【キャッチフレーズ】

ひとり一人を大切に **がんばる心が育つ** **しあわせな学校**
【笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい 馬頭東小学校】

児童の実態
○明るく素直で落ち着きがある。
○動労意欲が高い。
○思いやりをもち、助け合おうとする態度が育っている。
○学習への取組みが意欲的であり、基礎基本が身に付いている。
○やや消極的である。
○思考力、表現力に課題がある。
地域の実態 保護者の願い
地域社会の要請 教師の願い

学校経営の方針

□：県教育振興基本計画 2025 基本施策との関連
○：町教育大綱・教育振興計画基本施策との関連

- (1) 児童・保護者・地域・学校の実態を生かし考慮し、学校教育目標達成のために創意工夫した教育課程を編成し、組織を生かして活力ある学校づくりを推進する。 1・7①②③
- (2) 心の教育を推進し、やさしさと困難にも耐え抜く強い心をもった児童を育成する。 2・6・8・10①⑥
- (3) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力・人間性等の涵養を通して、生きる力を育むための確かな学力を育成する。 5・8・11・12・15①⑥
- (4) 健康・体力の向上と安心・安全な学校づくりに努める。 1・7・14・20①③
- (5) 個性を生かした教育実現のため、児童の実態を的確に把握し、関係機関との連携を図り、一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実を図る。 3・4・8①
- (6) 教育公務員としての自覚を深め、教育の専門職として確かな力量と豊かな人間性をもった教職員を育成するため研修を積み、資質・能力の向上を図る。 15・16・18①
- (7) 人づくりを具現化するように努め、家庭や地域社会との連携を密にし、「社会に関わられた教育課程」の実現を目指した地域とともにある学校づくりに努める。 9・11・12・13・18①②④⑤
- (8) ハッピースローププラン（こ・小・中連携教育）を推進する。 1・2③

目指す児童像
自ら学び たく
ましく生きる 心
豊かな子ども

目指す教職員像
子供とともに学び続ける
教職員



馬頭東小学校キャラクター
「くさばちゃん」

◎：今年度の重点

努力点・実践事項

- (1) 学校経営の充実と創意と活力ある学校づくり
ア 学校経営の充実（学校マネジメント体制の確立） イ 生きる力を育む特色ある教育課程の編成（様式学級における教育課程編成の工夫）
ウ 活力ある教育活動の実施（児童と向き合う時間を確保するための業務改善）
- (2) 豊かな心を育てる指導の推進
ア 「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の充実 イ 人権教育の精神に根ざした集団形成
ウ あいさつ・ありがとう運動の推進 エ 読書活動・暗唱活動の充実
- ◎(3) 生きる力を育むための確かな学力の向上
ア 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善（個別学習の徹底・授業中の学習意欲の向上） イ 児童の学習改善・教師の指導改善につなげる学習評価の工夫 ウ ICTの効果的な活用（活用スキル向上・授業） エ 基礎的・基本的内容の定着を図る家庭学習の推進
- ◎(4) 健康・安全な学校づくりと健康・安全教育の充実（危機管理体制の確立）
ア 教科体育・体育的活動の充実と共遊の推進 イ 健康教育の充実と安全指導の徹底（新型コロナウイルス感染症の予防・対策）
ウ 健康安全的な行事の工夫・改善 エ 教職員の危機管理意識の確立と施設・設備の安全管理の徹底
- (5) 特別支援教育の充実
ア 一人一人の教育的ニーズに応じた支援の推進（インクルーシブ教育システムの推進） イ 校内支援体制の充実
ウ 交流及び共同学習の推進 エ 保護者や専門機関との連携
- (6) 教職員の能力・資質の向上
ア 学校組織として校内研修体制の構築と研修内容の改善 イ OJTを活用した同僚性をもった人材の育成
ウ 教職員評価制度を活かした能力・資質や動労意欲の向上
- ◎(7) 「社会に関わられた教育課程」の実現を目指した地域とともにある学校づくりの推進
ア 保護者・地域との連携・協働体制の構築 イ 地域学校協働活動の展開（コミュニティ・スクールの運営）
ウ 「ふれあい学習」の推進 エ 「家庭学習の約束」の啓発とノーメディアデーの推進
- (8) ハッピースローププラン（こ・小・中連携教育）の推進
ア こ・小・中連携による協力体制の充実 イ 小1プロブレムと中1ギャップの解消

各学年目標

1年	だれとでもなかよくする子	よくきき、はっきりはなす子	げんきにあそぶ子
2年	だれとでもなかよくできる子	よくきき、はっきり発表する子	げんきにあそぶ子
3年	だれにでも親切で、助け合う子	よく考え、工夫して学習する子	力を合わせ、進んで運動する子
4年	だれにでも親切で協力し合う子	よく考え、工夫して学習する子	力を合わせ、進んで運動する子
5年	相手の気持ちを考えて行動する子	進んで意見を出し合い学習する子	めあてをもって進んで体をきたえる子
6年	思いやりの心をもって行動する子	進んで意見を出し合い、認め合って学習する子	めあてをもって進んで体をきたえる子

学校課題

研究主題（案） 文章や情報を正確に読み解き、論理的に考える児童の育成
～短期的・長期的な視点を踏まえた学力向上の取組を通して～

1 提案テーマ

「社会に開かれた教育課程」を実現する学校づくり
～コミュニティ・スクールを基盤とした学校と地域の連携・協働の推進～

2 提案趣旨

子供たちが予測不可能な未来社会を自立的に生き、社会の形成に参画するために必要な資質・能力を育成するには、社会総掛かりで教育に当たらなければならない。よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという「社会に開かれた教育課程」の実現が重要である。この「社会に開かれた教育課程」の実現には、子供たちに求める資質・能力とは何かを教育課程において明確し、地域の人的・物的資源等を活用しながら着実に教育課程を実施することが求められる。さらに学校・家庭・地域が一体となって子供たちを育むためにはコミュニティ・スクールの充実がますます重要であると考えます。

そこで、「社会に開かれた教育課程」を実現するために、本校がこれまで実践してきたコミュニティ・スクールを基盤とした学校と地域との連携・協働の取組を提案したい。

3 提案内容 ※次ページより

- (1) コミュニティ・スクールと地域とともに歩む学校づくりについて
- (2) 学校と地域の連携・協働について
- (3) 地域の教育資源を生かした教育活動と学校運営について

(1) コミュニティ・スクールと地域とともに歩む学校づくりについて

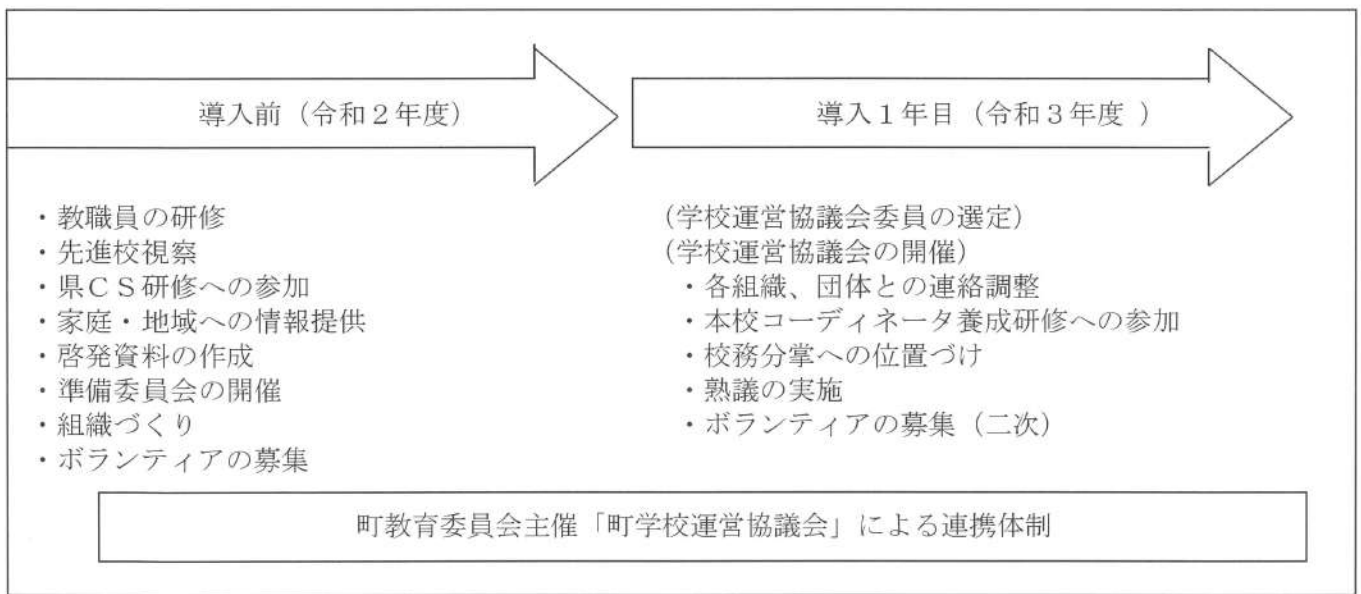
本校は、これまでも様々な活動において地域の方々から支援いただきながら、教育活動を推進してきた。地域と学校のパイプ役となる地域コーディネーターの方の活躍によりその活動は大変充実していた。そこで、那珂川町からコミュニティ・スクールのモデル校として指定を受け、令和3年度、町内5校（小学校3校、中学校2校）に先行して導入することになった。令和4年度には町内全校での導入となった。

<コミュニティ・スクール導入の経緯>

①学校運営協議会の設置に向けた準備

導入に当たっては、町と学校のスケジュールを明確にし、準備を進めることとした。

コミュニティ・スクール導入に向けた計画



馬頭東小学校コミュニティ・スクール5か年計画

令和2年度	準備期 (体制づくり)
令和3年度	導入期 (推進計画作成)
令和4～5年度	推進期 (各種計画修正・実践)
令和6年度	充実期 (活動を軌道に乗せる)

②学校運営協議会開始までの具体的な取組 (令和2年度)

令和2年度は関係機関と連携しながら、学校運営協議会設立に向けて準備を進めた。

コミュニティ・スクール導入に向けたスケジュール

月	名 称	内 容
R 2 6	先進地視察 (講師) 先進小学校教頭 同 地域連携教員	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの運営の実際 ・学校運営協議会の組織と運営 ・校内体制づくり ・地域協働本部事業との連携
7	町研修会「コミュニティ・スクールに	【対象】学校管理職、地域連携教員

	<p>についての概要説明」 (講師) 塩谷南那須教育事務所 那珂川町教育委員会</p> <p>教職員研修「コミュニティ・スクール について」 (講師) 塩谷南那須教育事務所 那珂川町教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の参加者 校長、地域連携教員 ・馬頭東小学校区の強みと課題 ・コミュニティ・スクールの実際と学校との関係性
8	町教育委員会・県教育委員会との打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・本校の持つコミュニティ・スクール像について ・本校独自ボランティア組織と町地域協働本部事業との連携について ・今後のタイムスケジュールについて
9	P T A本部役員との打合せ	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A会員、地域へのコミュニティ・スクール構想の説明 ・ボランティア募集の実施についての説明 ・情報交換
10	校区内へのビジョン説明（保護者・地域への説明）（チラシの配付）	<ul style="list-style-type: none"> ・P T A会員、地域へのコミュニティ・スクール構想の説明 ・学校H Pへの構想掲載
	学校評議員への説明、協議	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール構想についての説明 ・学校運営協議会の組織と役割について説明 ・ボランティア募集の実施についての説明 ・情報交換
	<p>学習会の実施</p> <p>町研修会「コミュニティ・スクールについての説明」 (講師) 塩谷南那須教育事務所 那珂川町教育委員会</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全保護者、学校評議員、6行政区長、ボランティア登録者でコミュニティ・スクールの設置目的や仕組みを理解する。 <p>地域課題について</p> <p>【対象】 P T A、教職員、民生児童委員、行政区長、育成会長 他</p>
	ボランティア「東っ子助け隊」の募集	<ul style="list-style-type: none"> ・本校P T A会員及びP T A会員の推薦する地域人材への学校支援ボランティア募集 ・「草取り隊」「樹木選定隊」「図書応援隊(※)」「掃除の神様隊」「下校見守り隊」「校内消毒隊」「学習応援隊(※)」「ミシンサポート隊(※)」を募集する。 <p>※については、既存の組織を活用する。</p>
11	<p>第1回町準備委員会 (講師) 塩谷南那須教育事務所 那珂川町教育委員会</p> <p>地域住民への説明 (講師) 塩谷南那須教育事務所 (講師) 那珂川町教育委員会</p>	<p>準備委員 校長会代表、各学校地域連携教員、教育長、生涯学習課長、指導主事、社教主事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために熟議し、アンケートにより見いだした地域課題について、構成員個々人が解決

		策や各自の役割を認識できるようにする。 ・地域と学校の共通テーマを設定できるようにする。
1 2	馬頭東小学校・学校運営協議会準備委員会①	・学校評議員、PTA役員（正副会長）、町コーディネーターにより行い、組織づくりの方向性（人選）を見いだす。 ・熟議のテーマを絞る。
R 3 1	馬頭東小学校・学校運営協議会準備委員会②	・準備委員会①の委員に、地域協働本部コーディネーター、ボランティア名簿登載者若干名、行政区長、育成会役員、学識経験者、地域おこし協力隊等を加えて行い、組織づくりの方向性（人選）を進める。 ・熟議のテーマを決定する。
	馬頭東小学校・学校運営協議会委員の人選	・上記準備委員会①②から得られた委員候補者に依頼を行う。 ・町教育委員会に委員候補者の報告
	第2回町準備委員会 （講師）塩谷南那須教育事務所 那珂川町教育委員会	準備委員 校長会代表、各学校地域連携教員、教育長、生涯学習課長、指導主事、社教主事
2	馬頭東小学校・学校運営協議会準備委員会③	・準備委員会②で得られた委員メンバーで行い、組織づくり、役員（案）を作成し、次年度当初の学校運営協議会設立に向けての最終確認をする。 ・熟議テーマの承認
	馬頭東小学校運営協議会委員の報告	・準備委員会③により承認された委員、熟議テーマを町教育委員会に報告する。
4	第1回学校運営協議会	・運営協議会委員の委嘱 ・熟議

③教職員研修の充実

- ・教職員研修として「馬頭東小学校区の強みと課題」「コミュニティ・スクールの実際と学校との関係性」など、那珂川町教育委員会並びに栃木県教育委員会から講師を招聘し、教職員の理解を促進した。
- ・県内先進校の視察や県コミュニティ・スクール研修会への参加により、運営ノウハウやよりより体制づくり、運営方法などを学んだ。

④ビジョンや課題の共有

馬頭東小学校区では、保護者、学校評議員、地域協働本部関係者、ボランティア名簿登載者、行政区長、育成会役員、学校教職員の学習会や準備委員会により、地域の課題と共通目標を見いだしていった。そのために、広く意見を求めるためにアンケートも実施した。

アンケートの内容

馬頭東小学校区の地域課題について

馬頭東小学校では、「地域とともにある学校づくり」を目指しています。そこで、なお一層学校区内のことを理解し、みなさんと話し合いの機会を設けさせていただけたらと考えています。そのため、みなさんの様々なご意見や思いをお聞かせくださいますようお願いいたします。

[問1]

地域の伝統行事の名称と内容をお聞かせください。

[問2]

地域のよさは何ですか。どんな観点でも結構です。

[問3]

あなたが住んでいる地域で、「このまま成り行きに任せていたら、将来まずいことになるのでは？」ということはありませんか？真剣に向き合っていかなければならない「課題」はありませんか？

[問4]

[設問3]の答えの中で、① すぐに対策・対応が必要なもの、② 時間をかけて対策・対応を講じる必要があるものは何ですか？

[問5]

[設問3]の答えの中で、これらの課題の解決に向けて、①「学校」だけで対応できること、②「地域」だけで対応できること、③「家庭」だけで対応できること、はどれですか？

⑤地域住民とのワークショップ

地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有するために学習会や準備委員会において熟議し、アンケートにより見いだした地域課題について、解決策や各自の役割を認識できるようにした。

⑥組織づくり

学校評議員をベースとし、コミュニティ・スクールに発展していくことで、組織的・継続的な体制が構築され、従来の取組も一層充実していくと考えた。

⑦協議テーマについて

設立準備委員会、PTA役員会の協議から得られた方向性

- ・コミュニティ・スクールの制度概要の理解は徐々に進んだが、具体的な内容はさらにていねいな説明が必要である。
- ・学校を場にした活動を中心に考えていくと、学校の教育課程との関連を図りながら実施することが望まれる。
- ・現役世代であるPTA会員には、労働世代という時間的な制約があるため、過度な負担を求めることは難しい状況である。
- ・学校教育目標との整合性をとることが、よりよい方向性につながると考えられる。

コミュニティ・スクール導入初年度であることから、令和3年度中をかけて、テーマを協議・検討していこうと考えた。ただし、熟議の方向性は「地域課題」の解決に資する「学校を場にした」「子どもに関わる教育活動」のための緩やかな協議テーマとした。

協議テーマ

笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱいな
たくましく生きる子供たちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくり

那珂川町立馬頭東小学校 コミュニティ・スクール 構想図

★那珂川町教育目標★
郷土に誇りを持ち、社会の一員として自立した、たくましい人づくり

馬頭東小学校 コミュニティ・スクール5カ年計画
R2年度→準備期間 R3年度→導入期 R4・5年度→推進期 R6年度～→充実期

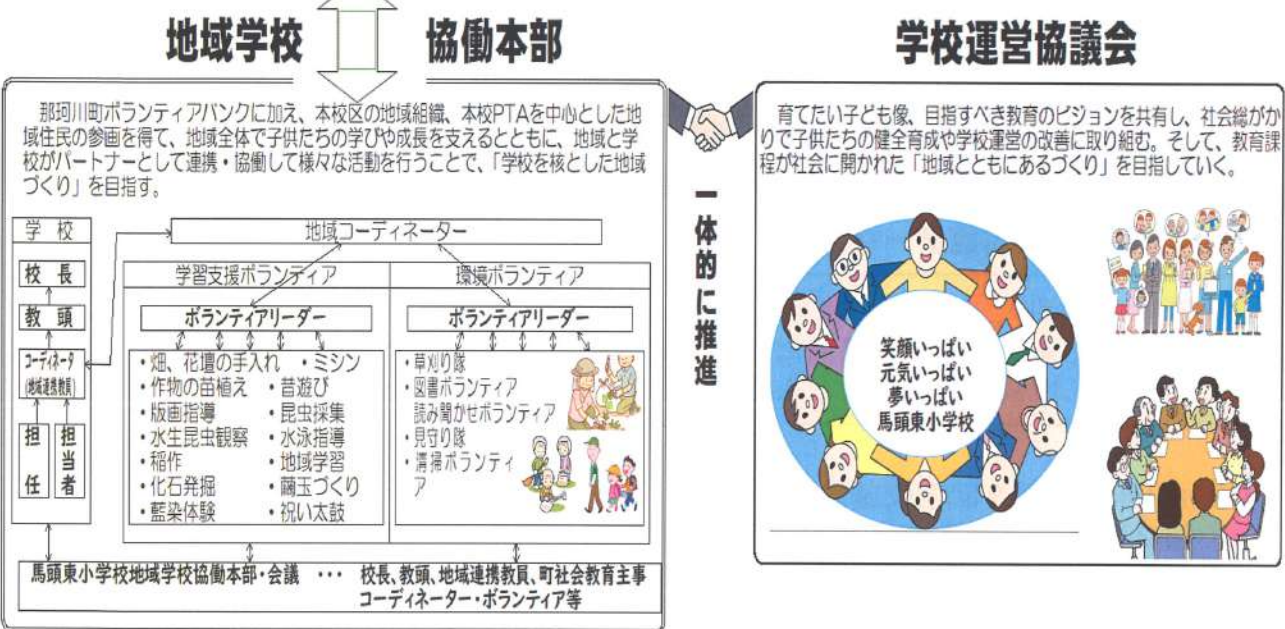
那珂川町地域学校協働運営委員会

【目的】
地域と学校が連携・協働し、子供たちの夢に向かって生き抜く成長を支えていく
地域学校協働活動を推進し、子供たちの夢に向かって生き抜く力と確かな学力を育む。

【運営委員会】
各学校代表 町P連役員 社会教育関係者 コーディネーター
各ボランティア団体代表 学識経験者 事務局 等

馬頭小学校 地域学校協働本部	小川小学校 地域学校協働本部	馬頭東小学校 地域学校協働本部	小川中学校 地域学校協働本部	馬頭中学校 地域学校協働本部
-------------------	-------------------	--------------------	-------------------	-------------------

- ### 推進目標(学校教育との関連)
- 1 地域の人材を生かし、学校教育活動を行うことによって、児童の学ぶ意欲を高めるとともに、多様なもの見方や考え方ができるようにする。
 - 2 地域の人々に学校教育活動や児童の活動に関心が高まり、地域ぐるみで学校の支援が行われるよう、地域連携教員を軸として「生きる力」を育む地域に根ざした学校にしていく。
 - 3 教職員や地域の人々が体験や交流を直し、児童とふれあえる時間を増やし、学校の教育活動のさらなる充実を図る。
 - 4 学校の教育活動の場を、地域の人々の生涯学習の成果を生かす場とすることで、地域の教育力を向上させるとともに、学校を媒介とした地域のつながりを深める。
 - 5 積極的に地域の社会教育施設を活用することにより、調べ学習や体験学習の充実を図る。
 - 6 清掃、福祉、文化活動等積極的に地域に参画することで、地域団体との連携を深めるとともに、地域の再発見や活性化を図る。



<コミュニティ・スクールの実際>

令和3年度、他校に先駆けてコミュニティ・スクールを導入した。特色ある学校づくり推進に向けて、地域の方々との熟議を重ねていき、目標や意見を共有することができた。

【学校運営協議会】

- ①令和3年度 第1回学校運営協議会
4月27日(火)に第1回学校運営協議会が開かれた。10名の委員が町教育委員会から委嘱され、主に下記のことについて協議した。
- ・学校運営の方針について
グランドデザインをもとに、学校教育目標や運営の重点等について承認いただいた。
 - ・教育活動の進め方について
本校の特色ある教育活動を中心に、教育課程の編成方針や留意事項、年間の行事予定等について協議した。
 - ・学校支援ボランティアの充実について

コミュニティ・スクールの活動の場である「学校支援ボランティア」について、活動を充実させて、教育活動の充実と地域の活性化の両立を図っていくことを確認した。

- ・協議テーマについて

これから委員会で協議していくテーマについて話し合った。

- ・授業参観

子供たちの学びに向かう姿を見ていただき、学校全体の様子を参観いただいた。



学校運営協議会の協議テーマ

笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱい
たくましく生きる子供たちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくり

②令和3年度 第2回学校運営協議会

第2回学校運営協議会では、前期学校評価の結果や学校支援ボランティアに関する意見とこれまでの活動の振り返りから、これからの本校と地域の活動の方向性を検討した。





③令和4年度 第1回学校運営協議会

4月26日(火)に第1回学校運営協議会を開催した。大内、盛谷、大山田の3地区からなる10名の委員が参加し、学校を場にした活動を行うことで地域も学校の子供たちも元気になるのではないかと考え、そのための方策を話し合った。



委員のみなさんからの意見

△課題となること△

- 「地域の**少子高齢化**」
- 「**子供と接する機会**が少ないこと」
- 「**集まり**がないこと」

○学校にできること○

- 「地域の方を**学校に招く**」
- 「学校の活動の**アピール**」
- 「**祝い太鼓**を通した**交流**」
- 「ボランティア活動での**交流**」

◎地域にできること◎

- 「住民の**意識改革**」
- 「地域内の**ハイキングイベント**」
- 「仕事や農業の**体験活動**」
- 「大人と子供の**遊ぶ場づくり**」



④令和4年度 第2回学校運営協議会

10月6日(木)、第2回学校運営協議会を開催した。地域や保護者の方々と学校が一体となって、地域活動を行うことで、誰もが楽しみ、地域が活性化して「元気」になるのではないかと考え、そのための具体的な方策を話し合った。今回の話し合いでは、学校で「星空観察」「地元でとれた材料で遊び道具づくり」を開こうという意見が出た。

地域の「ひと、もの、こと」を活用して、人々が集い、和気あいあいとした雰囲気の中で、地域のよさに触れることができる会になるのではないかと考えた。学校は、地域の中にあり、地域の思いの詰まった大切な場なのだ改めて認識した。学校を場にした地域・学校の活性化のための活動を進めていこうと熱く「学校を場にした地域活動」について話し合った。第1回の学校運営協議会の話し合いで出された地域の課題は、「子供と接する機会が少ないこと」、「集まりがないこと」であった。この課題を解決するために、学校を場にしてできる活動について、グループに分かれて協議した。



すぐにできる地域活動

《地域でできること》

「親子活動」

(例：やきいも会、しめ縄づくり)

「農業体験」

(例：花を育てる、餅つき、学校農園づくり)

《学校でできること》

「昔あそび」

(例：あやとり、竹馬、折り紙)

「クラブ活動」

(例：3B体操、ボッチャ、プログラミング)

《協力してできること》

「花火大会」「おもちゃづくり」

「アウトドア」

(例：キャンプ、バーベキュー、
星空観察)



地域の方々と子供、そして保護者が、学校を場にしてふれ合えるわくわくするような活動「ふれあい（集まり）」を、具体的に話し合った。委員の方々は、子供の頃の楽しかった思い出や地域の方の笑顔を思い起こしながら、活発に話し合い、地域活動の具体的な内容についてまで様々な意見を出し合った。

具体的な地域活動

《星空観察》

だれが・・・地域の方々と児童
 いつ・・・冬
 どこで・・・学校
 何をする・・・星空観察、昔の遊び
 軽食、豚汁、肝試しなど

《地元のもので遊び道具づくり》

だれが・・・地域の方々と児童
 いつ・・・学校の昼休み（生活科）
 どこで・・・学校の校庭
 何をする・・・昔の遊びと道具づくり
 （竹馬、紙飛行機）など



⑤令和4年度 第3回学校運営協議会

2月9日（木）、第3回学校運営協議会を開催した。学校のよりよい運営と地域の活性化や地域の子供たちの健全育成について話し合った。特に、今回の話し合いでは令和5年度に向けて、子供たちが地域の「ひと・もの・こと」から学びを進めるための具体策を、地域を場にした学校教育活動の在り方を踏まえて協議し、地域も学校の子供たちも元気になるための方策を検討した。



令和5年度には地域を場にした学校の教育活動として「地域探検」を実施予定である。下記の意見は、地域探検実施の際にお世話になるであろう地域の「ひと・もの・こと」について、委員の方々から出た意見である。

委員のみなさんからの意見

ひと
<地域の名人に学ぶ>
 米作り 猟師
 農業

もの
<施設の見学>
 神社 工場
 老人施設

こと
<体験する>
 砂金とり パン作り
 おまつり

【地域学校協働本部】

①令和3年度 第1回地域学校協働本部会議

ボランティア活動をされている方々の代表から、ふり返りと今後の方向性の意見をいただいた。以下に、ボランティアさんの声をいくつか紹介する。

○ボランティア活動を振り返って

- ・読み聞かせは、児童の皆さんとふれあえるので喜びをもらった。
- ・様々なボランティア活動を通して、児童の学びの環境がよりよいものになっている。
- ・児童は地域の方々の支えを身近に感じ、感謝の気持ちを高めることで、豊かな心が育っていると思う。
- ・ボランティア活動をしてくださっている方々に「やってよかった」「これからも続けたい」と強く思っていただけのような活動、行事を企画してはどうか。

○今後のボランティア活動

- ・これまでの活動に何を加えるか、担当職員と相談したい。新着図書、図書委員・職員のお勧めの本、楽しい情報を「図書室ニュース」のような形で案内できればと思う。
- ・担当職員の負担にならないように気をつけたい。
- ・図書ボランティアの増員はどうか。
- ・地域の一人暮らしの高齢者の方々に対して、ボランティアの方々と手紙や贈り物を作る活動などは、学校にも地域にもプラスになる面が多いと思う。
- ・学校と地域の双方向性を意識して活動を展開することで、地域の方々の協力を今後も仰ぐことが可能なのではないか。
- ・親子でやるモノづくりや体験活動に、幅広く対応できるボランティア人材がいる。
(例：木工、手芸、ウォーキング、地元体験、農業、林業、地元料理 等)

○コミュニティ・スクールのテーマについて

- ・理想的なテーマだと思う。地域の住民として微力ではあるが、できる範囲で協力したい。
- ・目指す学校像と一致するテーマで、一貫性があると思う。テーマに沿った活動が展開されているのではないかと思う。
- ・あまりにも具体性があるテーマよりも、どんな活動でもテーマに合致するような抽象的な部分も必要なのではないか。そうすることで多様な活動ができると思う。
- ・地域の方々と接することで、地元での暮らし方や楽しみ方をたくさん知ってもらい、自己有用感が高められると思う。

②令和3年度 第2回地域学校協働本部会議

委員の方々からの主な意見を掲載する。

○これまでのボランティア活動をふり返って

- ・数少ない活動ではあったが、楽しく実施できた。特によみきかせは児童と直に触れ合うことができよかった。
- ・想像以上にボランティア活動がなされていて驚いた。地域にはもっとボランティア人材が埋もれているので、活用できればいいと思う。
- ・コロナ感染症の状況で制約されながらも、コミュニティ・スクールをスタートし、先生方は町の取り組みも踏まえての活動で苦労も多い中、多方面から活動実践し、良かったと思う。
- ・子供たちがさまざまな「ひと」「もの」「こと」に触れ、何かを感じ取り成長している様子が伝わってきた。このような活動が持続できるよう、しっかりと組織作りと、学校に地域の方々がいることが自然な状況だという地域連携に対する理解促進が必要だと思う。

○今後のボランティア活動について

- ・これまで同様、図書室の環境づくりの一助となればと思う。読み聞かせも、これま

でどおり設定していただけると嬉しい。

- ・学校として、どのようなボランティアが希望か示してほしい。
- ・祝い太鼓は、他校にはない特色だと思うので、地域の方々に発表する場づくりや、卒業生を入れてのコラボ演奏もよいのではないかと。
- ・運動会に、大山田・谷川・大内地区対抗競技をもうけて、地域に開かれたイベントをしてはどうか。
- ・地域の方々のクリーン活動またはウォーキングをしたはどうか。
- ・学校と地域で双方向性をもった活動を増やせると、教育活動に一層の効果が期待されるのではないかと思う。
- ・今年の収穫したお米を、お世話になった地域の方々に配ったことや、地域クリーン活動なども、学校から地域への発信にあたり、良い活動だと思う。
- ・児童が学習活動で制作した作品と、地域の方々が制作した作品等を展示して、小さな展覧会などを開くと、地域の方々も気軽に学校に顔を出せるのではないかと思う。

③令和4年度 第1回地域学校協働本部会議

5月10日に第1回地域学校協働本部会議を開催した。ボランティア活動をしてくださっている方が、ボランティア活動の充実について話し合った。これまでの振り返りと今後の展望に、地域の活性化や子供たちの健全育成という視点を加味して、ボランティア活動の活性化の方向性を話し合った。ボランティア仲間の和気あいあいとした雰囲気の中での話合いとなった。



委員のみなさんからいただいた意見

△ボランティア活動の課題△

- 「学校の手伝いだけでは長続きしない」
- 「ボランティアの気持ちをもった方への声掛けが難しい」
- 「学校の思いと地域の思いを一致させたい」

○学校にできること○

- 「子供と地域のふれあいの場づくり」
- 「子供と大人が共に活動する企画づくり」
- 「活動の計画をアピールする」
- 「子供にボランティアさんの想いを伝える」

◎地域にできること◎

- 「グループや団体で協力する」
- 「交流のキャッチコピーを作って呼びかける」
- 「集まることで、楽しむ」
- 「ロコミで輪を広める」

④令和4年度 第2回地域学校協働本部会議

1月30日に第2回地域学校協働本部会議を開催した。これまでの様々なボランティア活動から、地域の方一人一人の自己実現と、子供たちと心の交流による充実感を確かめることができた。

委員のみなさんからいただいた意見

○新たな活動○

スポーツ 工作 手芸 絵手紙 竹細工 パン作り タグラグビー ポッチャ
吊るし雛 キンボール ボランティア太鼓隊 草刈り機講習会 スポーツ玉入れ

○新たな視点で○

- ・ P T A 研修をボランティアで
- ・ ボランティアリストがあるとよい
- ・ スポーツ推進員とコラボ
- ・ 公民館指導者が学校を場に

○ふれあいタイムの設定○

- ・ 地域の行事がなくなった分、学校を場にするのもよい。
- ・ 地域との交流をふれあいタイムなど学校を場にしてみるとよいのでは。

(2) 学校と地域の連携・協働について

学校は地域連携教員が、地域は地域コーディネーターが窓口となって学校と地域をつなぎ、協働活動を推進している。お互いが連携することで、地域とともに歩む学校づくりを効果的に推進することができると思う。子供たちの夢に向かって、これからの時代を生き抜く力と確かな学力を育てていくために、地域と学校が共に協働活動を推進している。

<学校支援の実際>

【図書ボランティア】

定期的に図書室の整備をしてくださっている。図書室内の本の整理や人気の本を見やすくディスプレイしたり、本の修理などをしたりしてくれている。特に、新たに購入した本を登録したり、壊れにくいように整えたりするには経験とコツが必要なのでとても助かっている。また、昼休みには読み聞かせや児童図書委員への指導も実施している。





【米作りボランティア】

「町に学ぶ」（なかがわ学）という学校テーマに基づく総合的な学習の時間に、毎年5年生が田植えを行っている。30年以上お世話になっているボランティアの方にご指導いただきながら作業体験をしている。手植えの体験に加え、機械植えも見学して、稲作の大変さと工夫を知るなど、学習を深めている。

また、秋には大切に育ててきた稲の刈り取り作業も、ボランティアさんの指導をいただいで行っている。手刈りの経験は少ない児童にはとても貴重な体験となっている。





【草刈り隊】

地域のボランティアの方々に、学校及びその周辺の除草活動に取り組んでくださっている。子供たちのために朝早くから作業を開始し、多くの方の力で教育環境を整えていただいている。



【お掃除隊】

日ごろ手の届かない場所の清掃をお手伝いいただいている。慣れた手つきで校内のいろいろなところをきれいにしてくださっている。



【見守り隊】

職員が安全点検をしている昼休みの時間に、遊んでいる子供たちを見守ってくださったり、一緒に遊んでくださったりしている。また、授業参観後の学年懇談の際、残留児童の見守りをしてくださっている。



(3) 地域の教育資源を生かした教育活動と学校運営について

<地域の教育資源を生かした教育活動の取組>

「町に学ぶ」(なかがわ学)学習を進めるために生活科と総合的な学習の時間の年間指導計画を見直した。既存の活動をさらに充実させ、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を効果的に活用した活動の推進を目指している。

令和4年度 生活科・夢っ子タイム年間学習計画(地域とともに)

		学年プラン	学校プラン「ふるさとを体験しよう!なかがわ学」
1 2 年 生	生活		学校プラン「ふるさとを体験しよう!なかがわ学」 ふるさとを体験しよう!「なかがわ学 ちいさの方とふれあおう」 野菜作りしよう(6) 昔の遊びしよう(4)
3 年 生	総合	学年プラン「ふるさとから世界へ」 【学年プラン】馬頭のいいところ見つけた! 那珂川町探検隊(34)	学校プラン「ふるさとに学ぼう!那珂川学」 ふるさとに学ぼう!「那珂川学① ふるさとの名人」 ふるさとの名人に学ぼう(34) 地域資源を生かす 伝統の農具 歴史の建物 交流の場を → 地域とともに学ぶ 内へ 外へ 地域とともに学ぶ 地域の歴史を招く 農具の展示会 農具の展示会
4 年 生	総合	【学年プラン】橋木のすばらしさ再発見! 大内川探検隊(34)	ふるさとに学ぼう!「那珂川学② 町おこしの達人」 やさしい町づくり発見(34) 地域資源を生かす 交流の場を → 地域とともに学ぶ 内へ 外へ 地域とともに学ぶ 地域の歴史を招く 農具の展示会 オンライン発表会
5 年 生	総合	【学年プラン】日本のよいところを伝えよう! 神秘の海へ(16) 日本の伝統文化を伝えよう(15)	ふるさとに学ぼう!「那珂川学③ 那珂川の米作り」 米と人々の生活(37) 地域資源を生かす 米作り体験 茶「お母ひかり」 田植え、稲刈り → 地域とともに学ぶ 内へ 外へ 地域とともに学ぶ 地域の歴史を招く 農具の展示会 稲刈り体験 稲刈り体験
6 年 生	総合	【学年プラン】夢!世界へ羽ばたいていこう! 世界の文化に親しもう(24) 東京探検隊(23)	ふるさとに学ぼう!「那珂川学④ ありがとう那珂川町」 日本の伝統文化を伝えよう(5) ありがとうを伝えよう 一歩に動かして(17) 地域資源を生かす 交流の場を → 地域とともに学ぶ 内へ 外へ 地域とともに学ぶ 地域の歴史を招く 農具の展示会 稲刈り体験 稲刈り体験

【どんぐりひろい】 1、2年生活科「あきをさがしにたんけんにいこう」

地域のボランティアの方のお力をお借りしてどんぐりひろいをした。いろいろな種類の木の実のとれる場所を紹介していただき、説明していただいたり手伝っていただいたりしながら、秋の自然に触れることができた。



【さつまいも栽培】 1、2年生活科「やさいをそだてよう」

教材園でさつまいもを栽培した。苗の植え方やツルの切り方やマルチの外し方などいろいろ教えていただきながら、楽しく収穫をすることができた。



【昔の遊び】 1、2年生活科「むかしのあそびをしよう」

凧あげ、こま回し、竹とんぼ、おはじき、折り紙など昔の遊びを地域の方々に教えていただきながら一緒に楽しく遊んだ。



【草木染め体験】 3年総合的な学習の時間「ふるさとの名人に学ぼう」

地域で藍染めをされている方にお世話になり学習を進めた。自然素材を生かして染め物をしている方の技術や考え方に触れ、自然豊かな本地区のすばらしさを感じていた。



【まゆ玉クラフト制作】3年総合的な学習の時間「ふるさとの名人に学ぼう」

地域で繭玉を使って、数々の作品を仕上げている方から教えていただいた。



【畳クラフト制作】3年総合的な学習の時間「ふるさとの名人に学ぼう」

地域の畳職人の方から畳についての説明を聞き、畳を使った作品を仕上げた。



【水質調査】4年総合的な学習の時間「大内川探検隊」

学校のすぐ横を流れている大内川の水質調査を行っている。馬頭高校水産科の教員、生徒の方々に、採集道具一式をお借りして、水生昆虫の採集や水質の調査のしかたを教えてください、水質保全と川の素晴らしさを再確認できた。



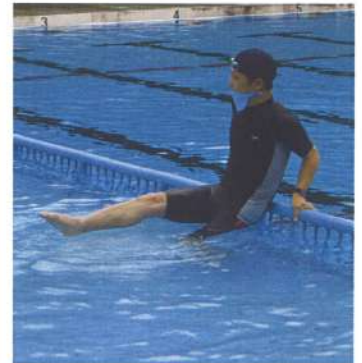
【馬頭東子ども祝い太鼓】5・6年総合的な学習の時間「日本の伝統文化を伝えよう」

本校の伝統的な地域伝統芸能である「馬頭東子ども祝い太鼓」を地域のボランティアの方々にご指導いただいている。太鼓をたたく心構えや技術を身に付け、5年生全員で奏でる太鼓の音は、力強く地域の大切な文化を守ることにつながっている。練習の成果は発表会をはじめ、卒業式や入学式などで演奏を披露している。



【水泳学習】全学年体育

水泳の指導資格を持つ方に指導いただいている。ポイントを押さえて指導いただき、水に慣れ、浮き方、泳ぎ方がみるみる上達することができた。



【ミシン学習】5、6年家庭科

5年生は初めてのミシンの学習であったが、丁寧に教えていただきながらエプロンづくりを行った。



【ボッチャ体験】クラブ活動

町社会福祉協議会と馬頭高校ボランティア部の方々に教えていただきながら体験した。ルールやコツを教えていただき、楽しく体験することができた。



【クリーン活動】学校行事

地域の環境美化をねらいとして全校生で行う活動である。地域コーディネーターの方が活動に参加してくださり一緒に汗を流した。子供たちは自分の住む地域がきれいになる喜びを感じていた。



【読み聞かせ】

朝の学習の時間「チャレンジタイム」を使って、月に1回程度、読み聞かせボランティアの皆さんによる読み聞かせを行っている。子供たちはとても楽しみにしており、絵本の世界に引き込まれ、本を読む楽しさを味わっている。



【特別なお話会】

秋の読書週間には体育館を会場にして、読み聞かせボランティアの皆さんによる特別なお話会を開いている。いつもの読み聞かせとはちがった雰囲気の中で読み聞かせをしていただき、よい読書体験となっている。



＜地域との連携の推進と校長のマネジメント＞

【地域探検】1、2年生活科 3～6年 総合的な学習の時間

地域を場にした教育活動を推進するために、学校運営協議会と地域学校協働本部会議にて、提案いただいた「地域探検」を実施することとした。生活科や総合的な学習の時間（夢っ子タイム）のねらいに沿った活動を展開するために、地域の教育資源「ひと・もの・こと」を活用し、地域を改めて知り、今後の学習に発展することを目標に、地域の方々の全面的な協力のもと実施した。

①コースの決定

地域をよく知るスポーツ推進員の方々と連携した。学校は校長と地域連携教員が参加し打合せを何度か行った。神社や工場、棚田など地域の名所を巡るコースを紹介くださり、児童の脚力や安全性なども考慮し、適切な距離と道順を協議した。立ち寄る場所との連絡調整も地域の方に担っていただき、大いに助かった。

②下見の実施

コース案を確認するために地域のスポーツ推進員の方々の案内で実際に回ってみた。当日配慮しなければならないことなどを確認することができた。

③地域探検を通して

当日はスポーツ推進員の方々が先頭になって案内いただいた。子供たちは地域の魅力を発見し、新たな課題を見出し、調べていきたいという意欲が湧いてきた。その後の学習に広げることができた。



【ふれあいタイムの設定】

学校運営協議会と地域学校協働本部会議でいただいた意見から、日課を見直した。地域の方が自由に来校し、子供たちと交流する時間を設定した。新たな時間を設けるのではなく、従来の昼休みと昼の活動の時間を合わせて「ふれあいタイム」とした。名称を付けて明確にしたことで地域への周知を図った。

【ボランティアルームの設置】

校内には空き教室がないため図書室の一面にテーブルを置き、ボランティアの方々が打合せなどができるようにした。児童が出入りする図書室を利用することにより、地域の方と児童との交流の場になるのではないかと考えた。

【情報発信の取組】

毎月発行の「学校だより」と、年3回発行の「コミスクだより」を地区内全戸に回覧して、学校の取組、地域ボランティアの方からの支援の状況、学校と地域との協働活動の様子等の情報を提供している。また、学校ホームページにおいて、日々の取組の他に「コミュニティスクールのコーナー」を設けたり、地域学校協働活動の様子などを地元ケーブルテレビや町広報紙に取材をしてもらったりと、広報活動にも努めている。

【学校における働き方改革の推進】

学校のニーズに応じて地域コーディネーターが地域住民等と連絡調整の役割を担ってくださることにより、教職員の事前準備の時間が大幅に削減された。学校と地域の連携・協働の推進により教職員の負担軽減につながっていると感じる。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・「社会に開かれた教育課程」を実現するためにコミュニティ・スクールを基盤として様々な取組を行ってきた。子供たちは地域の方々と共に多様な活動を行うことで、生まれ育った地域を深く知ることができ、ふるさとを愛する気持ちが高まってきた。
- ・地域の方々との協議により目指す児童像を共有することができ、共に子供たちを育てていくという意識の高揚につながった。
- ・子供たちのコミュニケーション能力、人を思いやる気持ち、物事を多角的に考える力を高めていくというねらいに近づいてきた。
- ・学校と地域が連携・協働することにより、子供たちと地域のつながりをより強くすることができた。

(2) 課題

- ・教育課程の実施に当たってはその目標の達成を目指して、さらに地域の「ひと・もの・こと」を効果的に活用するなど、地域との協働活動を推進していく必要がある。
- ・学校運営の方針や教育活動に地域のニーズを反映させ、本学区ならではの特色ある学校づくりを学校と地域が一体となって進めていかなければ重要である。
- ・共に子供を育てていくことを学校と地域が共有し、協働活動を通して、「学校を核とした地域づくり」を進めていくことで、「社会に開かれた教育課程」を実現していくことができるのではないかと思う。

コミ・スクだより

～地域と協働して、子供たちに『生きる力』を育みましょう～

第1号 馬頭東小学校 4月15日

本校は町のパイロット校として、他校に先駆け「コミュニティ・スクール」制度を導入します。

先生方にも『「コミ・スク」とは?』という疑問がまだあると思います。そこで、“コミ・スクだより”で、情報を少しずつ伝えていきます。ポイントをしばって発信していきますので、コミ・スクの一員になってください。

☆☆☆ コミュニティ・スクールの仕組み ☆☆☆



(参考:R元. 10 文部科学省「コミュニティ・スクールのつくり方」)

コミュニティ・スクールは、「学校運営協議会」制度を導入した学校のことです。本校では、

○「学校運営協議会」(①議論の場)

→10名の委員で年間3回、学校と地域の協働の在り方を話し合います。

○「学校支援ボランティア」(②活動の場)

→学習支援や環境整備支援を地域の方々の力を借りて進めます。

の2つを一体的に進めます。

コミ・スクだより

～地域と協働して、子供たちに『生きる力』を育みましょう～
第6号 馬頭東小学校 5月6日

4月27日(火)に、コミュニティー・スクールのスタートとなる「学校運営協議会」が開かれました。

10名の委員さんが町教育委員会から委嘱され、主に下記のことを話し合いました。

①学校の運営方針

グランドデザインを基に、学校教育目標や運営の重点等について承認いただきました。

②教育活動の進め方

本校の特色ある教育活動を中心に、教育課程の編成方針や留意事項、年間の行事予定について協議しました。

③学校支援ボランティアの充実について

コミ・スクの活動の場である「学校支援ボランティア」について、活動を充実させて、学校活動の充実と地域の活性化の両立を図っていくことが確認されました。

④協議テーマについて

これからの委員会の協議テーマの案を話し合いました。仮テーマは下記のとおりです。

⑤授業参観

ご協力ありがとうございました。子供たちの学びに向かう姿を見ていただきました。



慎重に協議いただきました



立派な学習の様子に感心していました

☆学校運営協議会の協議テーマ(仮)☆

笑顔いっぱい、元気いっぱい、夢いっぱいな
たくましく生きる子供たちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくり

担任の先生方は、学校支援ボランティア活動を実践いただければありがたいです。ぜひ計画(学校教育概要 VI-A-5)に基づく支援をお願いします。

コミ・スクだより

～地域と協働して、子供たちに『生きる力』を育みましょう～
第8号 馬頭東小学校 5月19日

町教委発行の「ハッピー通信」No5で、本校のコミュニティ・スクールが始まったことが記事として掲載されました。

今年度、本校は県教委の「頑張る学校・地域！応援プロジェクト(学校と地域の連携推進モデル事業)」に指定されています。本校が町の推進役となって事業を展開し、令和4年度には町内の全校へコミ・スクを導入していく予定とのことです。



馬頭東小でコミュニティ・スクールがスタートしました。



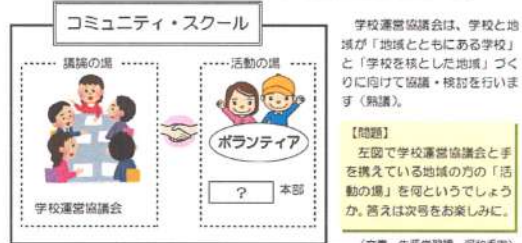
4月27日(火)に馬頭東小学校で学校運営協議会が開催され、いよいよコミュニティ・スクールの運用が始まりました。馬頭東小の学校運営協議会は、10名の委員で構成され、年間3回、学校と地域の協働のあり方を話し合います。学校を核とした地域社会の発展と、その未来を担う子どもたちを育むために、地域とともにある学校づくりが進められます。

本校の学校運営協議会について

コミュニティ・スクールって何？
学校運営協議会って何？



コミュニティ・スクールとは、「学校運営協議会」制度を導入した学校のこと。



学校運営協議会は、学校と地域が「地域とともにある学校」と「学校を核とした地域」づくりに向けて協議・検討を行います(熟議)。

【問題】
左図で学校運営協議会と手を携えている地域の方の「活動の場」を何と称していいでしょうか。答えは次号をお楽しみに。

(中略) (中略) (中略)

コミ・スクの解説

◎◎◎ボランティアルームを作りました◎◎◎

図書室の一角を、ボランティア席にしました。ボランティアさんが来校した際、休憩したり、打ち合わせをしたりする場所です。

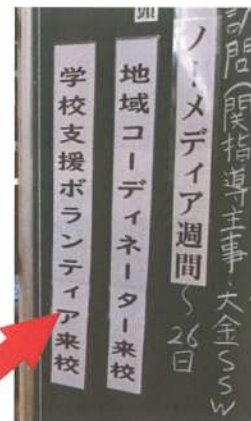
そこには、ボランティアさんの交流ノートを配置しました。ボランティアさんの思いに、どうぞ触れてみてください。



南東側のテーブル



交流ノート



地域ボランティアやコーディネーターが来校する場合、職員室の黒板でお知らせします。明るい笑顔とあいさつで、ボランティアさんを快く受け入れましょう。

コミ・スクだより

～地域と協働して、子供たちに『生きる力』を育みましょう～

第18号 馬頭東小学校 2月15日

◎◎◎ 年間を振り返って ◎◎◎

1月中には、1、2年生の昔の遊びや高林さんの図書ボランティア、朝の読み聞かせボランティア活動、小川さんと露久保さんによる太鼓指導ボランティア、清掃活動など、様々なボランティア活動が、残念ながら中止になってしまいました。

今回は、新型コロナウイルス感染症のまん延防止等重点措置の発令や町内、校内の感染状況を鑑みての対応でした。一日も早く、感染の状況が改善し、これまでどおりの「地域とともにある」学校の教育活動が行われることを願いたいものです。

それでも1年間を振り返ると、たくさんの実践がなされました。先生方の実践に向けての理解・協力に感謝します。

コミスク、スタート



5年生の総合「田植え」



1、2年生の生活科「サツマの苗植え」



清掃ボランティア



除草ボランティア



4年生の総合「水質調べ」



学校行事「クリーン活動」



たまごさん「読み聞かせ」



全学年体育科「水泳」



たまごさん「特別なお話会」



5年生（6年生）太鼓指導



高林さんの読み聞かせ



1, 2年生の生活科「サツマの収穫」



スポーツクラブ「ポッチャ」



地域の皆様、いつも子供たちのために
ありがとうございます。

◎◎◎ 次年度に向けて ◎◎◎

令和4年度も、「地域と共に歩む」学校づくりを進めていきます。総合
や生活科のような学校プランの学習を通して、双方向性（お世話になる
だけでなく、学校からも・・・）という視点をもって進めていきましょう。

みんなで実現しよう

地域と共に歩む学校づくり

馬頭東小学校コミスクだより

第1号 令和4年5月16日発行

発行：馬頭東小学校学校運営協議会・馬頭東小学校地域学校協働本部

第1回学校運営協議会を開きました

令和4年度の第1回学校運営協議会を4月26日（火）に、馬頭東小学校図書室で開催しました。

学校運営協議会とは、地域や保護者の皆様と学校がいっしょになって、地域の活性化や子供たちの健全育成について話し合っていく組織です。大内、盛谷、大山田の3地区から10名の委員さんが参加し、地域の子供たちが集う学校を場にしたボランティア等の活動を行うことで地域も学校の子供たちも元気になるための方策を話し合いました。

年間3回の会議を開き、地域・学校の活性化のための「地域のみなさんの 地域のみなさんによる 地域のみなさんのため」の活動の方向性を作り上げていきます。どうぞよろしくお願ひします。



運営協議会のようす

熱く「地域と子供の育成」について話し合いました

委員のみなさんからの意見

△課題となること△

- 「地域の**少子高齢化**」
- 「**子供と接する機会**が少ないこと」
- 「**集まり**がないこと」



話し合いのようす

○学校にできること○

- 「地域の方を**学校に招く**」
- 「学校の活動の**アピール**」
- 「**祝い太鼓**を通した**交流**」
- 「ボランティア活動での**交流**」

◎地域にできること◎

- 「住民の**意識改革**」
- 「地域内の**ハイキングイベント**」
- 「仕事や農業の**体験活動**」
- 「大人と子供の**遊ぶ場づくり**」

第1回地域学校協働本部会議を開きました

令和4年度の第1回地域学校協働本部会議を5月10日（火）に、馬頭東小学校図書室で開催しました。

地域学校協働本部会議とは、本校でボランティア活動をしてくださっている方々が、ボランティア活動の充実について話し合っていく組織です。これまでの振り返りと今後の展望に、地域の活性化や子供たちの健全育成という視点を加味して、ボランティア活動の活性化の方向性を話し合いました。

年間2回の会議を開き、活動をとおしてボランティアの輪を広げるよう皆さんの知恵を結集する話し合いを進めていきます。どうぞよろしくお願ひします。



地域学校協働本部会議の様子

楽しみながら「地域のふれあい」を話し合いました



ボランティア仲間の和気あいあいとした雰囲気の中で

みなさんからいただいた意見

△ボランティア活動の課題△

- 「学校の**手伝い**だけでは長続きしない」
- 「ボランティアの気持ちをもった方への**声掛け**が難しい」
- 「学校の**思い**と**地域の思い**を一致させたい」

○学校にできること○

- 「子供と地域の**ふれあいの場**づくり」
- 「子供と大人が**共に活動**する企画づくり」
- 「活動の**計画をアピール**する」
- 「子供にボランティアさんの**想い**を伝える」

◎地域にできること◎

- 「**グループや団体**で協力する」
- 「交流の**キャッチコピー**を作って呼びかける」
- 「**集まる**ことで、**楽しむ**」
- 「**口コミ**で輪を広める」

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱいな たくましく生きる子供たちを育成する

地域と共に人と人との**ふれあい**のある学校づくり

馬頭東小学校 **コミスク** だより

第2号 令和4年11月4日発行

発行：馬頭東小学校学校運営協議会・馬頭東小学校地域学校協働本部

第2回学校運営協議会を開きました

第2回学校運営協議会を10月6日（木）に、馬頭東小学校図書室で開催しました。

学校運営協議会は、地域の方々や保護者の皆様と学校がいっしょになって、学校のよりよい運営と併せて、地域の活性化や地域の子供たちの健全育成について話し合っていく組織です。

学校区の大内、大那地、盛泉、谷川、大山田上郷、大山田下郷の6行政区から10名の委員さんが参加し、子供たちが通う学校を場にした地域活動を行うことで、地域の方々も保護者の皆様も学校の子供たちも誰もが楽しみ、地域が活性化して「元気」になるための具体的な方策を話し合いました。

今回の話し合いでは、学校で「星空観察」「地元でとれた材料で遊び道具づくり」を開こうという意見が出ました。地域の「ひと、もの、こと」を活用して、人びとが集まり、和気あいあいとした雰囲気の中で、仲良くなりながら地域の良さが確かめられる会になるのではないのでしょうか。

学校は、地域の中にあり、地域の皆様の思いの詰まった大切な場なのだと考えています。その学校を皆さんの集う場としながら、地域・学校の活性化のための「地域のみなさんの 地域のみなさんによる 地域のみなさんのため」の活動を進めていこうと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



運営協議会のようす

熱く「学校を場にした地域活動」を話し合いました

4月の話し合いで出された地域の課題は、「**子供と接する機会**が少ないこと」、「**集まり**がないこと」でした。

この課題を解決するために、学校を場にしてできることを、グループに分かれて話し合いました。



すぐにできる地域活動

《地域でできること》

「親子活動」

(例: やきいも会、しめ縄づくり)

「農業体験」

(例: 花を育てる、餅つき、学校農園づくり)



《学校でできること》

「昔あそび」

(例: あやとり、竹馬、折り紙)

「クラブ活動」

(例: 3B体操、ポッチャ、プログラミング)



《協力してできること》

「花火大会」「おもちゃづくり」

「アウトドア」

(例: キャンプ、バーベキュー、
星空観察)

楽しみながら「地域のふれあい」をくわしく話し合いました

地域の方々と子供、そして保護者の皆さんが、学校を場にしてふれあえるわくわくする「ふれあい(集まり)」を、具体的に話し合いました。委員の皆さんは、子供の頃の楽しかった思い出や地域の方の笑顔を思い起こしながら、活発に話し合いました。

具体的な地域活動

《星空観察》

だれが・・・地域の方々と児童
いつ・・・冬
どこで・・・学校
何をする・・・星空観察、昔の遊び
軽食、豚汁、肝試しなど



《地元のもので遊び道具づくり》

だれが・・・地域の方々と児童
いつ・・・学校の昼休み(生活科)
どこで・・・学校の校庭
何をする・・・昔の遊びと道具づくり
(竹馬、紙飛行機)など



このような心のあたたまるふれあい活動を重ねることが、一人でも多くの住民の皆さんに本校の活動を知っていただくことにつながります。そして、多くの住民の皆さんと手を取り合って活動を進めていくことで、私たちの住む地域の大きな課題である「**少子高齢化**」の解決にも結びつくのではないのでしょうか。

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱいな たくましく生きる子供たちを育成する

地域と共に人と人とのふれあいのある学校づくり

馬頭東小学校 **コミスク** だより

第3号 令和5年2月20日発行

発行：馬頭東小学校学校運営協議会・馬頭東小学校地域学校協働本部

第3回学校運営協議会を開きました

令和4年度最後の第3回学校運営協議会を2月9日（木）に、馬頭東小学校図書室で開催しました。

学校運営協議会は、地域の方々や保護者の皆様と学校がいっしょになって、学校のよりよい運営と、地域の活性化や地域の子供たちの健全育成について話し合ってきました。

学校区内6行政区の10名の委員さんが参加し、令和5年度に向けて、子供たちが地域の「ひと・もの・こと」から学びを進めるための具体策を、地域を場にした学校教育活動の在り方を話し合い、地域も学校の子供たちも元気になるための方策を話し合いました。

年間3回の会議を通し、委員の皆様はお互いに心を開き、地域・学校の活性化のため「地域のみなさんの 地域のみなさんによる 地域のみなさんのため」の活動の方向性を見いだしてきました。委員の皆様、1年間本当にありがとうございました。



運営協議会のようす

熱く「地域を場にした学校教育活動」を話し合いました

10月の話し合いでは、「学校を場にした地域活動」でした。今回は、『**地域を場にした学校の教育活動**』を話し合いました。

令和5年度に学校では、「**地域探検**」を行います。子供たちが地域の「ひと・もの・こと」を学びます。どうぞ地域の皆様、その際はお力をお貸しください。

委員のみなさんからの意見

ひと	もの	こと
〈地域の名人に学ぶ〉	〈施設の見学〉	〈体験する〉
米作り 猟師	神社 工場	砂金 パン作り
農業	老人施設	おまつり 川

地域の方や保護者の皆さんとともにできると ふれあい がうまれる



話し合いのようす

第2回地域学校協働本部会議を開きました

第2回地域学校協働本部会議を1月30日(月)に、馬頭東小学校図書室で開催しました。

地域学校協働本部会議では、これまでボランティア活動をしてくださっていた方々が、活動の充実と子供とのふれあいの在り方について話し合ってきました。

今年度の様々なボランティア活動から、お一人お一人の自己実現と、子供たちとの心の交流による充実感を確かめることができました。さらに、ボランティアの皆さんのネットワークにより、今後の新たな広がりを見込めることができました。ボランティアの皆さん、本当にありがとうございます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。



地域学校協働本部会議の様子

充実感の中で「地域のふれあい」を話し合いました



ボランティア仲間の和気あいあいとした雰囲気の中で

みなさんからいただいた意見

○新たな活動○

スポーツ 工作 手芸 絵手紙 竹細工 パン作り タグラグビー ポッチャ
吊し雛 キンボール ボランティア太鼓隊 草刈り機講習会 スポーツ玉入れ

○新たな視点で○

PTA研修をボランティアで
ボランティアリストがあるとよい
スポーツ推進員とコラボ
公民館指導者が東小学校を場に

◎ふれあいタイムの設定◎

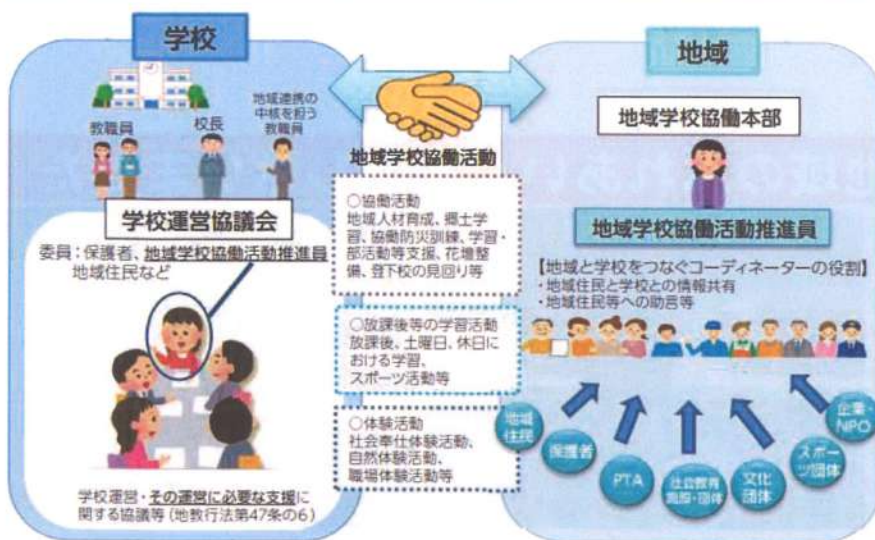
地域の行事がなくなった分、学校を場に
するのによいですね。地域との交流をふれあ
いタイムなど学校を場にしてみると、よいで
しょう。

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱいな たくましく生きる子供たちを育成する

地域と共に人と人とのふれあいのある学校づくり

昨年度、町内全小中学校に学校運営協議会と地域学校協働本部が設置され、「那珂川町コミュニティ・スクール」が始まりました。今年度は「地域とともにある学校づくり」「学校を核とした地域づくり」の実現に向けて、広く地域住民、教職員の方々に「那珂川町コミュニティ・スクール」を知っていただくことをねらいとし、不定期で「那珂川町コミュニティ・スクール通信」を発行していきます。

「那珂川町コミュニティ・スクール」の仕組み



各校の学校運営協議会と地域学校協働本部を一体的に推進する仕組みが「那珂川町コミュニティ・スクール」です。

学校運営協議会は各校の協議テーマに則り、学校運営及び地域づくりについて協議します。地域学校協働本部はその協議結果を基に、様々な協働活動を通して、学校や地域の課題解決を行う組織です。

コミュニティ・スクール 2018 ～地域とともにある学校づくりを目指して～ 文部科学省より引用

各校の地域学校協働本部の紹介

各校の地域学校協働本部には、地域コーディネーター、学校の教職員、地域の方々が所属しています。地域の子ども達の豊かな学び、学校を核とした地域づくり、教職員の働き方改革など、様々なねらい達成に向けて活動します。「こんな体験を子ども達にさせたい」「授業で指導者がたくさんほしい」など、ぜひ各校の地域コーディネーターの方、地域連携教員の先生にご相談ください。

【各小中学校の地域学校協働本部の名称】

- 馬頭小学校地域学校協働本部 『馬小っ子応援団』
- 馬頭東小学校地域学校協働本部 『東っ子助け隊』
- 小川小学校地域学校協働本部 『わになりたい』
- 馬頭中学校地域学校協働本部 『地域チャレンジ隊』
- 小川中学校地域学校協働本部 『すすかけのとも』



馬頭小学校手話体験の様子

(文責：社会教育主事 河和)

馬頭東小学校、地域を場にした協働活動「地域探検」を紹介します

4月28日（金）に、馬頭東小学校が「地域探検」を実施しました。これは、馬頭東小学校学校運営協議会のテーマである

「笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱいな たくましく生きる子供たちを育成する
地域とともに人と人とのふれあいのある学校づくり」

をもとに、昨年度の学校運営協議会の熟議（委員同士のワークショップ）から生まれた活動の一つです。地域コーディネーターを中心とした馬頭東小学校地域学校協働本部『東っ子助け隊』が実現させてくれました。特に、地域のスポーツ推進委員の方々には、コースの選定から見学場所の交渉までしていただき、大変お世話になりました。

子供たちは自分の足で地域を探検することで、自分が生まれ育ったふるさとに愛着を、地域の方々は「久しぶりに子供の姿を見ると元気が湧く」と、自然と笑顔がこぼれていました。



お力添えいただいた『東っ子助け隊』の皆さん



地域の方々との思わぬふれあい



二ホンミツバチがたくさん！



地域の方による講話



『くさぼうぼう亭』でのふれあい



笑顔いっぱい東っ子！！

地域を場にしたふれあい活動
子供たちも笑顔いっぱい！
地域の方々も笑顔いっぱい！

（文責：社会教育主事 河和）

参 考 文 献 等

- ・小学校学習指導要領（平成29年告示） 文部科学省 2017
- ・コミュニティ・スクールの作り方 文部科学省 2020
- ・コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議最終まとめ
コミュニティ・スクールの在り方等に関する検討会議 2022
- ・学校と地域の連携・協働推進ハンドブック 栃木県教育委員会 2023
- ・学校における働き方改革推進プラン（第2期） 栃木県教育委員会 2022
- ・那珂川町地域コーディネーターガイドブック 那珂川町教育委員会 2022
- ・那珂川町学校支援ボランティアガイドブック 那珂川町教育委員会 2022

